

4. 円卓会議へ望むもの： リスクコミュニケーションの場として

◆ 産業界：

- ①情報や行動については開示・公開の原則で対応する
- ②外部から指摘される前に、能動的に対応を行う評価もしてもらう
- ③業界団体、企業での環境管理セクションの強化・充実
- ④環境対策の社会的・組織的な側面をより重視する

◆ 行政：

- ①国民から分かりにくい、省別縦割りの政策ではなく核心の分かり易い政策を
- ②NGO、企業そして組合他の民間の環境活動を促進する視点で政策を立案する
- ③多面的な資質を有した「環境人材」育成に力を入れる、分散しがちな関係者の交流の場づくりにも配慮して欲しい：環境交流カレッジ
- ④市民のライフスタイルや企業の事業構造といったマクロ面の環境改善、政策を充実させる

◆ 消費者・市民・NGO：

- ①労働組合としては忌憚のない対話を望んでいる
- ②業界との対話は低いハードルから初めて欲しい
- ③責任ある管理のためにも、事業活動の基盤については配慮が欲しい